



社団法人発明協会 第32回未来の科学の夢 絵画展 幼稚園の部 奨励賞「世界中の笑い声が聞こえてくるラジカセ」

育子会子供の城保育園(山形県上山市) 渡邊 拓道ちゃん

世界中から笑い声がとどくラジカセだよ。聞くとみんなも楽しくなって、ニコニコ笑顔になっちゃうんだ。

# HEART REPORT

## 第54期 報告書

[平成22年2月1日～平成23年1月31日]

証券コード: 7956

### CONTENTS

|           |    |
|-----------|----|
| トップインタビュー | 1  |
| 事業一覧      | 3  |
| 特集        | 5  |
| 連結財務ハイライト | 6  |
| 連結財務諸表    | 7  |
| インフォメーション | 8  |
| 株主広場      | 9  |
| 会社概要      | 10 |



代表取締役社長 大越 昭夫

東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々、そのご家族の方々に對しまして心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。また、日頃のご支援に對しまして厚く御礼申し上げます。

さて、第54期連結会計年度は、景気回復の兆しが見える一方、デフレ状況の継続や急激な円高の進行に加えて、雇用環境も引き続き厳しい状況にあり、景気の下押しリスクが依然として存在しておりました。

このような事業環境ではありましたが、ピジョングループは、「第三次中期経営計画」「GLOBAL Companyへの飛躍～チャレンジ、そして自立～」の最終年度にあたります第54期を「勝負の年」と位置付け、全社員一丸となって業務に邁進しました結果、業績は増収増益で終えることができました。

また、新たに第55期を初年度とする「第四次中期経営計画」「GLOBAL Companyとしての自立」をスタートさせております。新たな中期経営計画では、海外事業の拡大をさらに加速させることでグループ事業の成長をより確実なものとする一方で、国内事業においても、既存事業の収益性の向上と新たな成長基盤の構築に注力し、諸施策を強力に推進してまいります。

なお、株主の皆様の変わらぬご支援にお応えするため、このたびの期末配当は44円とさせて頂きました。その結果、中間配当44円と合わせた年間配当は、1株につき88円となりました。

株主の皆様におかれましては、これまで同様、ピジョングループの事業活動に對するご理解と、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 経営理念 「愛」

妊娠、出産、子育て、そして介護を通して、  
手助けを必要とするすべての人々に、  
『愛』を具体的な商品やソフトサービスの形にして提供する

## トップインタビュー

### 第四次中期経営計画の達成に向けて取り組んでまいります

#### Q 第54期の決算の概要をお聞かせください。

第三次中期経営計画の最終年度である第54期は、「勝負の年」として高い目標数値を掲げ、全社一丸となって達成に努めました。日本国内において販促促進費の増加があり、また、中国において急激な事業拡大に對した流通体制の整備・再構築を行いながらの活動となりましたが、おかげさまで業績は増収増益となりました。

第54期においても、インドにおける現地法人の設立や中国江蘇省常州市における工場の建設等、「GLOBAL Companyへの飛躍～チャレンジそして自立～」を実現するための“チャレンジ”を着実に実行してまいりました。

育児用品事業においては国内での新規事業展開、既存分野での研究開発に基づく商品開発を行い、海外では円高の進行は続きましたが、各エリアで伸長する事ができました。子育て支援事業は計画通りの伸長となっております。ヘルスケア・介護事業では「リクープ」ブランドは苦戦いたしました。介護支援サービスは計画通りの伸長となりました。

以上の結果、第54期の売上高は570億61百万円(前期比6.8%増)となり、経常利益は44億35百万円(前期比3.8%減)、当期純利益は29億28百万円(前期比3.1%増)となりました。

#### Q これまで3年間にわたり取り組んだ第三次中期経営計画についての総括をお願いします。

第52期を初年度とする第三次中期経営計画を進めた3年間は、リーマンショックもあり激動のうちに推移しました。しかし、この3年間であらためて確認できたことは、ピジョングループが展開している赤ちゃんやお年寄りを主な対象にしたビジネスは、比較的安定した事業である、ということです。このような状況下においても増収を継続することができました。

この3年間に、ピジョングループの成長エンジンである中国をはじめとした海外事業では、将来への飛躍のための積極的な投資を実施しました。まず、中国江蘇省常州市に新工場を建設し、

平成23年3月に開所式を行っております。また、既存の中国上海市の生産拠点、タイの生産拠点においては、それぞれ第二期工事を行い拡充を図りました。さらに、インドでの現地法人の本格稼働や北米、欧州で活動する当社子会社のランシノ社によるトルコ支店の営業開始、欧州の育児用品ブランド「mOmma」の営業権譲受け等の積極策を推進しました。また、人材の育成や研究開発体制の充実等、社内体制の整備にも注力し、スローガンとして掲げた「チャレンジ、そして自立」のうち、“チャレンジ”をした3年間であるといえます。

#### Q 国内市場（育児・ヘルスケア）における課題と今後の戦略についてお聞かせください。

国内育児用品の分野では、昨年3月に新しい「母乳実感」を発売しました。これは、ピジョングループが創業以来の哺乳研究の深耕により開発したもので発売以来好評をいただいております、また医療関係の方からの評判も非常に良く、世界トップの品質であると考えております。また、第54期においては、育児関連の取扱商品の拡大を目指し、ベビーカー、チャイルドシート等の大型商品の発売も開始いたしました。さらに、最近の流通市場で大きく伸びているインターネットの分野では、ピジョンインフォ、ピジョンモール、英国のブランド「Mamas&Papas」の3つの活動それぞれに今後の成長のためのノウハウの取得に努めております。

国内育児市場は少子化が進み、出生数が毎年2%ずつ減少し市場の縮小が避けられない状況であると考えておりますが、次期3ヵ年においても成長させることを目指しております。そのためには、ピジョングループの持つ技術力、開発力で、消費者の皆様に支持される商品を開発し市場に投入していきたいと考えております。また、取扱商品の対象年齢のアップを少しずつ進め、売上の拡大を目指してまいります。

ヘルスケアの分野においては多くの課題を認識することができました。特に、アクティブエイジの皆様を対象とした「リクープ」ブランドは競合する会社が多く、苦戦しております。第55期からはアプローチの仕方を変えて新たにスタートすることを考えて



おります。今後、高齢化が進む中で事業環境は良好ですので第四次中期経営計画に沿って、計画達成に向けて事業を推進してまいります。

## Q 中国市場での現在の課題と今後の戦略についてお聞かせください。

中国市場については第54期において現地通貨ベースでは、前年比で10%を超える増収となったものの、計画に対しては未達となり、株主の皆様にも多くのご心配をおかけしました。現地における二次代理店の切替えを行った関係で、一次代理店における在庫量が過剰になる等の問題がありましたが、おかげさまで第54期中にすべての問題を解決することができました。また、今まで顕在化していなかった様々な問題が明らかになり、見直しができたという機会だったと考えております。

江蘇省常州市の新工場の完成により、母乳パッドやウェットナップを中国国内で製造できる体制が確立し、それに伴い、このような消耗品を販売する体制も整えてきております。また、従来から続けております病産院における普及活動も今まで以上に積極的に取り組んでまいります。さらに、日本国内で大変ご好評をいただいている哺乳びん「母乳実感」の中国での販売も開始してまいります。

中国では年間の出生数が約1,700万人となっており、マーケットのポテンシャルは非常に大きなものがあります。中国でのビジネスモデルは既に確立しており、それをきちんとスピードを持って推進できる体制固めを進めております。日本国内で手掛けている育児用品のビジネスは、そのほとんどを中国でも同様に展開したいと考えておりますし、一部、日本国内で手掛けていないビジネスも展開し、将来的に中国で400億円の売上規模を目指してまいります。

## Q 北米市場における特徴的な戦略展開についてお聞かせください。また、その他市場における取り組みも教えてください。

北米市場においては、ランシノ社が母乳パッドやさく乳器を販売しておりますが、これまで哺乳びんの販売は手掛けておりませんでした。しかし、昨年の12月に欧州の育児用品ブランド「mOmma」の営業権を譲受けましたので、今後、北米でも育児用品を本格的に展開してまいります。

この「mOmma」ブランドは洗練されたユニークなデザインで、この

ようなデザインがピジョングループで展開できることはとても楽しみです。このデザイン力とピジョングループの技術力を合わせ、また、当然のことながらピジョン独自の品質規格(ピジョン・クオリティー・スタンダード)に基づいた商品を展開することにより、北米、欧州だけにとどまらず、世界中に拡大することが可能になると考えております。「mOmma」ブランドの獲得は、第四次中期経営計画を展開する上で、大きなパワーになると考えております。

その他の市場では、インドに現地法人を開設し本格的に事業を開始し、売上も大きく伸び順調に推移しておりまして、今後の成長に大きな手ごたえを感じております。マレーシアではシンガポールの子会社が現地の代理店を買収しており、この市場でも拡大を図ってまいります。

## Q 第55期より、新たに第四次中期経営がスタートしました。第三次中期経営計画と比べて特徴的なことを教えてください。

第四次中期経営計画は「GLOBAL Companyとしての自立」をスローガンに、第55期以降の3年間、ピジョングループの事業を力強く推進してまいります。今後は磐石な経営体制を確立し、役員はじめ従業員一人ひとりが自立し、成果に結び付けたいと考えております。そのためには、目標通りの実績を残し皆様の期待に応える“有言実行”の経営体制の確立が必要だと考えております。

第四次中期経営計画の最終目標は、売上高で733億円としました。これを達成すれば、その先、売上高1,000億円も視野に入ってきます。その時には、ピジョングループも真のGLOBAL Companyとして自立し、大きく変貌すると確信いたします。そのための準備を第四次中期経営計画の中で進めてまいります。

## Q 最後に、株主・投資家の皆様にメッセージをお願いいたします。

第54期は、おかげさまで増収増益という結果となったものの、当初想定した計画に対して未達となり、株主の皆様には多大なご心配をおかけしました。あらためて、皆様からの期待に応えていくことの大切さを認識しております。“有言実行”この言葉を肝に銘じ、ピジョングループが一丸となって第四次中期経営計画の初年度にふさわしい第55期の目標に向かって邁進してまいります。

第四次中期経営計画においても、これまで同様に、海外事業、国内事業に関わらず、常に前向きにチャレンジしてまいります。ピジョングループのそれぞれの事業が自立して、すばらしい実績を残せるようになれば、第四次中期経営計画のスローガンである自立が達成できると考えております。

株主の皆様には、中長期的な視野のもとにピジョングループの事業を温かく見守っていただき、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



●セグメント別状況 連結売上高 570億61百万円

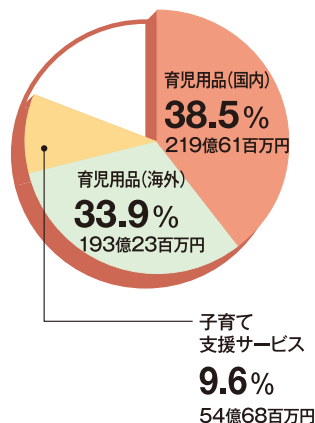
●事業区分

●売上高・売上比率

●業績の概要

●取扱商品／サービス

育児事業



81.9%  
467億53百万円

■国内育児用品事業

多様化するお客様のニーズにお応えするため、50年以上の哺乳研究により、さらに進化した新しい哺乳びん「母乳実感」などを新発売いたしました。大型商品への取り組みにおいては、ベビーカー、チャイルドシートを新発売しております。また、ブランド力強化のために注力しておりますダイレクト・コミュニケーションの一環として実施しております「マタニティ・イベント」には、合計で3,000名近いマタニティの方のご参加をいただき、「クチコミ コミュニティサイト」である「ビジョンインフォ」の会員数も順調に新規加入を獲得しております。さらに、英国ベビー用品デザイナーズブランド「Mamas&Papas」は本格的にカタログ、インターネットによる販売を開始しております。

■海外事業

地域別売上実績は、重点市場である中国、北米などを中心として、前期を上回る業績となりました。中国では、急激な事業拡大に対応した流通体制の整備、再構築を行いながらの活動ではありますが業績は前期を上回りました。連結子会社PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.においては第一期工事が竣工し、本格稼働に向けての準備は順調に進捗しております。また、母乳育児に関する啓発活動につきましては、「ビジョン母乳育児相談室」を含め、全国200箇所の病院と提携し活動を行っております。北米および欧州におきましては、連結子会社LANSINOH LABORATORIES, INC.が、新商品の市場投入による母乳関連商品のライン拡充や病院への普及活動を行うなど、順調な営業活動を行っております。また、同社は主に欧州にて育児用品を展開する「mOmma」ブランドに関する事業を譲受け、今後、同事業を米国市場で本格的に展開することにより、商品カテゴリ及び事業の拡大を図ってまいります。連結子会社PIGEON INDIA PVT.LTD.においては本格的な活動を開始しております。

■子育て支援事業

引き続き事業所内保育施設の運営受託をはじめとする営業活動を行っており、新たに6箇所の運営受託を開始しております。以上の結果、育児事業の売上高は467億53百万円(前期比8.9%増)となりました。

●授乳関連用品

哺乳びん  
乳首  
哺乳びん用洗剤  
哺乳びん消毒剤  
哺乳びんケース  
哺乳びん洗浄用品  
母乳パッド  
母乳バック  
さく乳器

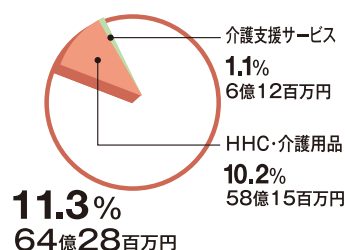


●離乳関連用品

マグマグ  
調理用品  
ベビー食器・食具  
エプロン  
ベビーフード  
ベビー飲料



ヘルスケア事業



11.3%  
64億28百万円

アクティブエイジの方を応援するブランド「リクープ」は、引き続きイメージキャラクターとして女優の香山美子さんを起用し、イベント、ポスター、専用カタログ等の展開を行いました。商品展開においては、温感効果のある「じ〜んわりぽかぽかジェル」などを新発売しております。また、介護用品ブランド「ハビナース」においては、利用者の方の行動特性が把握できる「見守りセンサシリーズ」などを発売しております。新規販売チャネルの獲得にむけて、カタログ通信販売、テレビショッピングチャンネル等への営業活動を継続いたしました。特にリクープ商品を中心とした商品認知の遅れおよび店頭への商品配荷の遅れ等により前期実績に届きませんでした。

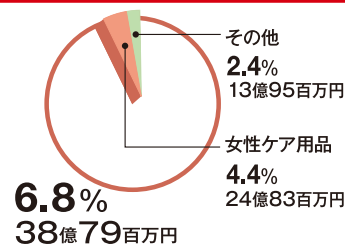
以上の結果、ヘルスケア事業の売上高は64億28百万円(前期比0.3%減)となりました。

●介護用品・老化予防用品

大人用紙おむつ  
尿とりパッド  
快適パッド  
おむつカバー  
吸収パンツ  
快適パンツ  
防水シート  
おしりふき  
からだふき  
尿器  
シャンプー  
清拭料  
消臭用品  
食器・食具  
食事用エプロン  
口腔衛生用品  
歩行補助器  
介護用ベッド



その他事業



6.8%  
38億79百万円

商品展開として、妊娠期特有の生活習慣や悩みに着目して開発した液体ハミガキ「デンタルリンス(薬用)」、妊娠期特有のお口のストレスを和らげるタブレット「ママのお口のタブレット」などを新発売しておりますが、前期の新型インフルエンザ流行による需要増の反動で除菌・消毒関連商品の売上高が減少したこともあり、前期実績を下回りました。

以上の結果、その他事業の売上高は38億79百万円(前期比4.1%減)となりました。

●女性ケア用品

サプリメント  
マタニティ  
インナーウェア



●スキンケア用品

ソープ  
シャンプー  
オイル  
ローション  
沐浴料  
UVケア  
パウダー  
おしりナップ  
ウエットティッシュ



●その他ベビー関連用品

綿棒  
つめきり  
ヘアケア  
体温計  
はな吸い器  
クールまくら  
ベビー医薬品  
乳歯ブラシ  
歯みがき  
温湿度計  
湯温計  
セーフティグッズ  
おしゃぶり  
トイ  
ベビースシューズ



●子育て支援サービス

保育サービス  
事業所内保育  
運営受託  
託児  
ベビーシッター  
サービス  
幼児教育サービス



車椅子  
寝巻  
サプリメント  
ステッキ  
シューズ



●介護支援サービス



栃木県下において事業展開

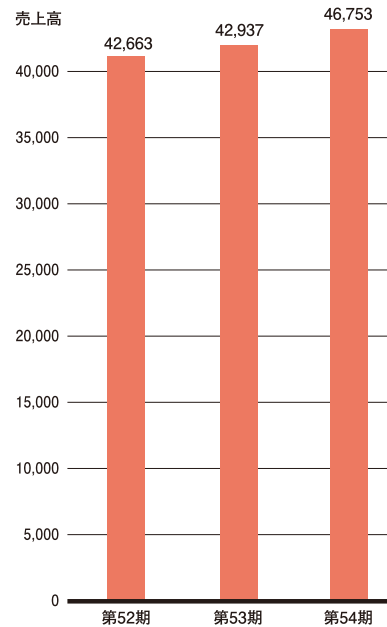
●その他



一般用ウエットティッシュ、その他

●売上高の推移

(百万円)



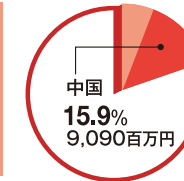
●地域区分

●売上高・売上比率

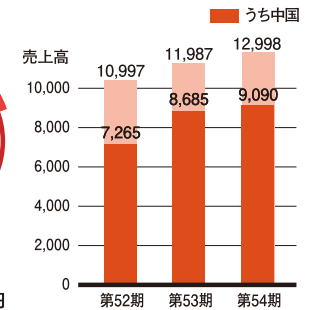
●売上高の推移 (百万円)

アジア

中国(含香港)  
韓国  
シンガポール他



22.8%  
12,998百万円

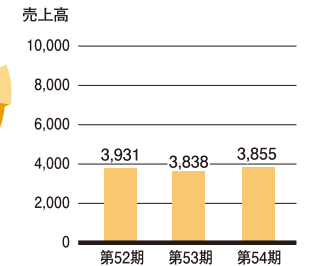


北米

アメリカ  
カナダ 他



6.7%  
3,855百万円

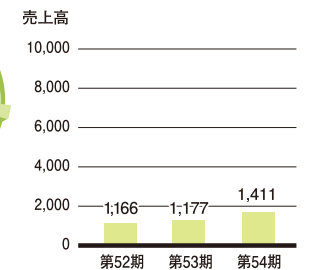


中近東

アラブ首長国  
連邦 他



2.5%  
1,411百万円

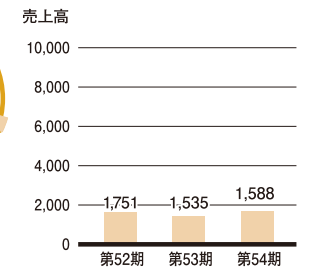


その他

イギリス  
パナマ  
南アフリカ 他



2.8%  
1,588百万円



# スピード感のある経営と独自の強みを武器に、持続的成長と企業価値の向上を目指します! GLOBAL Companyとしての自立 ~第四次中期経営計画がスタートしました~

## 第四次中期経営計画の概要

### GLOBAL Companyとしての自立

#### 最終年度目標数値(第57期)

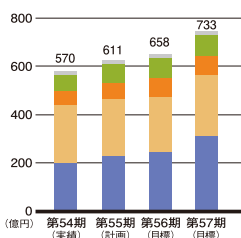
売上高 **570億円** → **733億円** (+28.5%)  
営業利益率 **8.0%** → **10.0%** (+2.0pt)  
ROE **11.2%** → **14.0%** (+2.8pt)

#### ■ 中期事業方針および事業戦略の概要

- ① 海外市場における積極的な事業展開を中心に、グローバルカンパニーとして更なる成長を目指す
- ② 国内外において、既存事業での収益性を向上させるとともに、新規・育成事業の確実な成長を実現する
- ③ 「基礎研究をベースとした新たな価値創造」と「人材の育成」を核に、グローバルな事業運営体制を構築する

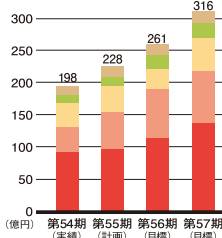
#### ■ 事業セグメント別 売上計画

海外事業  
国内ベビー・ママ  
子育て支援  
ヘルスケア・介護  
その他

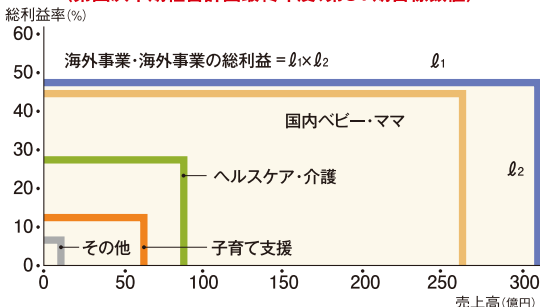


#### ■ 海外地域別 売上計画

中国(香港含む)  
中近東  
その他アジア  
その他地域  
北米



### ● ビジョングループの収益源泉と事業ポートフォリオ (第四次中期経営計画最終年度、第57期目標数値)



## 中核戦略

### 〈海外事業〉

積極的な事業投資によって生産体制の拡充と事業運営体制の強化を図りつつ、中国、北米など既存市場において、商品カテゴリーの拡充などによる一層の市場深耕、事業拡大を実現するとともに、インド、中近東、韓国、中南米などにおいて積極的な市場開拓を推進する。

#### ■ 中国市場

- 【流通政策】
- 既存チャネル (ベビー専門店・百貨店) での代理店との連携強化と会員店の組織化
  - 新規チャネル (量販店・ネット販売) での販売拡大

#### ■ 新製品・生産体制

- 商品開発体制の強化
- 生産体制の整備 (内製化の進行)

#### ■ 欧米市場

- 【北米・欧州】
- 母乳関連用品での普及活動強化、商品強化
  - mOmmaブランドの育成、活用による育児用品事業への参入

#### ■ 中南米

- ビジョンとランシノ社協働で市場開拓

#### ■ アジア・中近東市場

#### ■ インド

- 哺乳器・乳首、スキンケア用品を中心とした販売拡大

#### ■ 中近東

- 哺乳器・乳首の戦略強化、商品カテゴリーの拡大

#### ■ 韓国

- 「DoubleHeart」ブランドの認知向上と代理店との連携強化

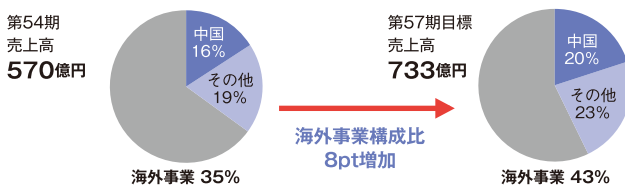


中国 常州工場



韓国 DoubleHeart ブランド

#### ■ 売上高目標 (海外事業構成比率の変化)



### 〈グローバル事業運営体制の構築〉

#### ■ 開発・品質管理体制

- 基礎研究を核とした商品開発力の向上
- 国内外の各拠点における体制強化と中央研究所との連携強化

グローバルな研究開発  
品質管理体制の強化

### 〈国内事業〉

ベビー・ママ事業における商品カテゴリー拡充やIT通販事業などの新規事業拡大、ヘルスケア・介護事業における重点商品カテゴリーの深耕と新規販売チャネルの開拓などにより、既存事業分野における収益性向上と新規商品分野および販売チャネルへの拡大を目指す。

#### ■ 国内ベビー・ママ事業

##### 新規分野の確立と既存事業での収益性向上

- 基礎研究を核とする競争優位性の高い商品開発
- ブランド強化施策の継続、流通との取り組み強化



「母乳実感」哺乳びん

ベビーカー「Pixy-turn」

- 更なる成長を目指し、「大型商品」、「女性ケア用品」などの商品カテゴリー拡大
- 基礎研究をベースとした差別化された商品の発売

- オンライン、コミュニティ、Webサイトなどを融合した「事業モデル」の創出

#### 〈既存事業の成長〉

Pigeon.info  
会員数拡大  
Pigeon mail  
品揃え強化

#### 〈新規事業の確立〉

Mamas&Papas  
魅力的なブランドとして  
市場での地位確立

### ヘルスケア・介護事業

#### 重点カテゴリーでの戦略深耕による、確実な成長

- ブランド認知向上と商品理解促進のための効率的施策の実行
- 主力チャネルに加え、通信販売などの新規チャネルの開拓を実行



アクティブエイジの  
皆様に応援するブランド



介護される方への心配り、  
介護する方の負担を軽くする  
優しさのブランド

#### 子育て支援事業

##### 事業品質の一層の向上と、着実な成長

- 運営品質の向上、質の高い保育人材の育成
- 保育園運営事業の強化、拡大

#### ■ グローバル人材の育成と確保

- グローバルなビジネスフィールドで活躍できる人材の育成

海外展開に必要な  
人材育成施策の実行

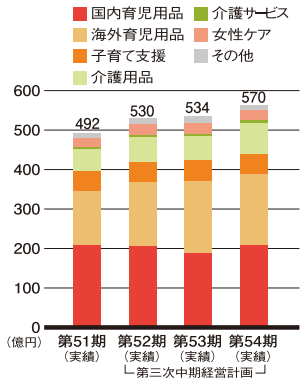
## 第三次中期経営計画の総括

### 〈経営指標の数値目標の達成率〉

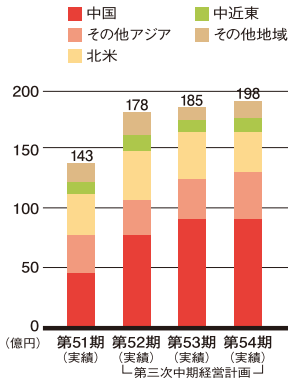
| 経営目標  | 第51期実績 | 第54期実績 | 第三次中期計画 | 達成状況   |
|-------|--------|--------|---------|--------|
| 売上高   | 492億円  | 570億円  | 607億円   | 94.0%  |
| 営業利益率 | 6.5%   | 8.0%   | 9.1%    | ▲1.1pt |
| ROE   | 6.4%   | 11.2%  | 13.0%   | ▲1.8pt |

金融不安に端を発する世界的な景気低迷などによる市場環境の急激な悪化と円高の進行に加えて、これまで急速に拡大してきた中国事業における流通体制の再構築に伴う一時的な業績の伸び悩み、また、ヘルスケア・介護事業の業績未達などにより、数値目標を達成するには至りませんでした。

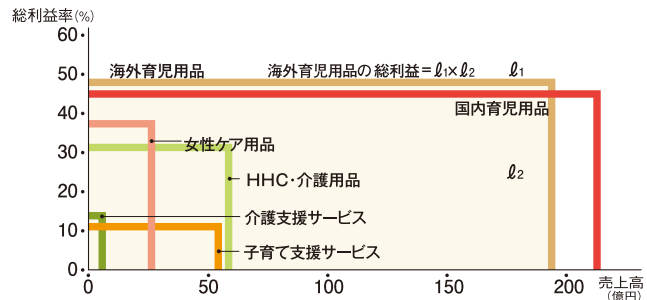
#### ■ 事業セグメント別 売上実績の推移



#### ■ 海外地域別 売上実績の推移



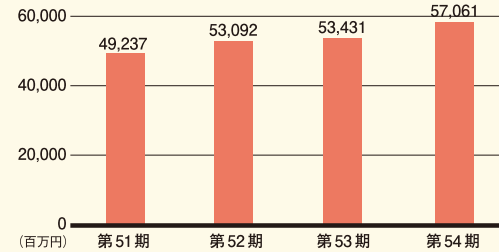
### ■ ビジョングループの収益源泉と事業ポートフォリオ 第三次中期経営計画終了時(第54期)



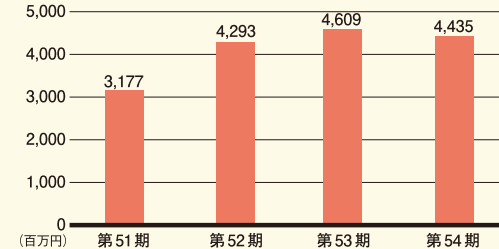
上記のグラフはビジョングループの収益源泉としての事業ポートフォリオをグラフで表しています。タテ軸が総利益率で、各事業の収益性の大きさを割合を示しております。ヨコ軸が売上高で、各事業の規模を示しております。

## ■ 連結財務ハイライト

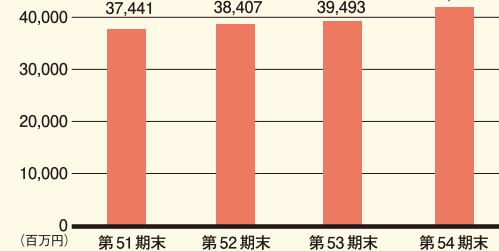
### ■ 売上高



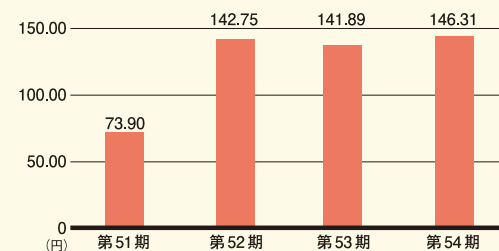
### ■ 経常利益



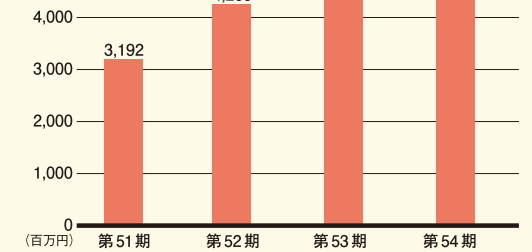
### ■ 総資産



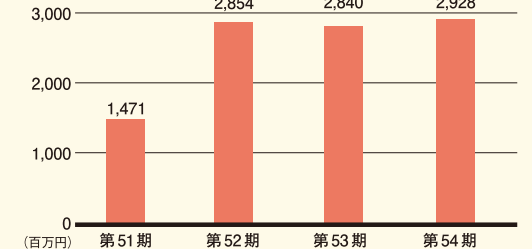
### ■ 1株当たり当期純利益



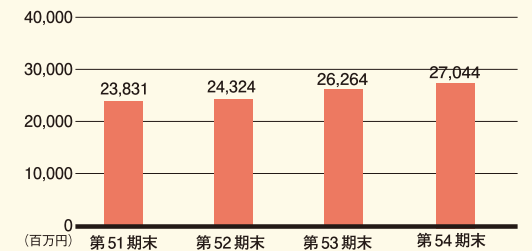
### ■ 営業利益



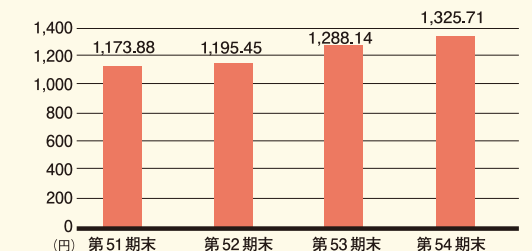
### ■ 当期純利益



### ■ 純資産



### ■ 1株当たり純資産



# 連結財務諸表

※百万円未満は切り捨てて表示しています。

## ■連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

| 科目           | 第54期末<br>平成23年1月31日現在 | 第53期末<br>平成22年1月31日現在 |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部         |                       |                       |
| 流動資産         | 24,162                | 22,272                |
| 固定資産         | 18,521                | 17,221                |
| 資産合計         | 42,684                | 39,493                |
| 負債の部         |                       |                       |
| 流動負債         | 12,227                | 10,694                |
| 固定負債         | 3,413                 | 2,535                 |
| 負債合計         | 15,640                | 13,229                |
| 純資産の部        |                       |                       |
| 株主資本         | 28,383                | 26,977                |
| 資本金          | 5,199                 | 5,199                 |
| 資本剰余金        | 5,180                 | 5,180                 |
| 利益剰余金        | 18,451                | 17,044                |
| 自己株式         | △447                  | △446                  |
| 評価・換算差額等     | △1,850                | △1,195                |
| その他有価証券評価差額金 | 11                    | 7                     |
| 為替換算調整勘定     | △1,861                | △1,203                |
| 少数株主持分       | 510                   | 482                   |
| 純資産合計        | 27,044                | 26,264                |
| 負債純資産合計      | 42,684                | 39,493                |
| 1株当たり純資産額(円) | 1,325.71              | 1,288.14              |

## ■連結株主資本等変動計算書 第54期(平成22年2月1日から平成23年1月31日まで)

(単位:百万円)

|                               | 株主資本  |       |        |      |        | 評価・換算差額等         |              |                | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|-------------------------------|-------|-------|--------|------|--------|------------------|--------------|----------------|--------|--------|
|                               | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |        |
| 平成22年1月31日残高                  | 5,199 | 5,180 | 17,044 | △446 | 26,977 | 7                | △1,203       | △1,195         | 482    | 26,264 |
| 連結会計年度中の変動額                   |       |       |        |      |        |                  |              |                |        |        |
| 剰余金の配当                        | —     | —     | △1,521 | —    | △1,521 | —                | —            | —              | —      | △1,521 |
| 当期純利益                         | —     | —     | 2,928  | —    | 2,928  | —                | —            | —              | —      | 2,928  |
| 自己株式の取得                       | —     | —     | —      | △1   | △1     | —                | —            | —              | —      | △1     |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額(純額) | —     | —     | —      | —    | —      | 3                | △658         | △654           | 28     | △626   |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | —     | —     | 1,407  | △1   | 1,406  | 3                | △658         | △654           | 28     | 779    |
| 平成23年1月31日残高                  | 5,199 | 5,180 | 18,451 | △447 | 28,383 | 11               | △1,861       | △1,850         | 510    | 27,044 |

## ■連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

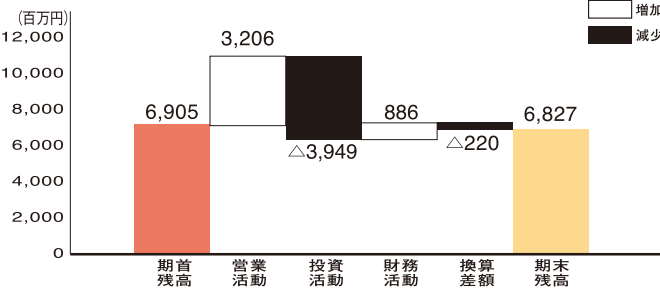
| 科目            | 第54期<br>平成22年2月1日から<br>平成23年1月31日まで | 第53期<br>平成21年2月1日から<br>平成22年1月31日まで |
|---------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 売上高           | 57,061                              | 53,431                              |
| 売上原価          | 33,780                              | 32,528                              |
| 販売費及び一般管理費    | 18,734                              | 16,298                              |
| 営業利益          | 4,546                               | 4,604                               |
| 営業外収益         | 372                                 | 409                                 |
| 営業外費用         | 484                                 | 404                                 |
| 経常利益          | 4,435                               | 4,609                               |
| 特別利益          | 20                                  | 4                                   |
| 特別損失          | 86                                  | 448                                 |
| 税金等調整前当期純利益   | 4,369                               | 4,165                               |
| 法人税、住民税及び事業税  | 1,331                               | 1,299                               |
| 法人税等調整額       | 21                                  | △89                                 |
| 少数株主利益        | 88                                  | 115                                 |
| 当期純利益         | 2,928                               | 2,840                               |
| 1株当たり当期純利益(円) | 146.31                              | 141.89                              |

## ■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

|                     | 第54期<br>平成22年2月1日から<br>平成23年1月31日まで | 第53期<br>平成21年2月1日から<br>平成22年1月31日まで |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 3,206                               | 4,964                               |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △3,949                              | △2,105                              |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | 886                                 | △2,018                              |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | △220                                | 91                                  |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △77                                 | 932                                 |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 6,905                               | 5,972                               |
| 現金及び現金同等物の期末残高      | 6,827                               | 6,905                               |

## ■連結キャッシュ・フロー推移グラフ



## POINT-1 連結財務諸表のポイント

### ■連結貸借対照表

#### [資産]

流動資産は、前期末と比較して18億90百万円増加し、固定資産は13億円増加となりました。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が11億16百万円、たな卸資産が2億90百万円増加したこと等によるものです。固定資産の増加は、連結子会社PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO.,LTD.における新工場建設に伴い建物及び構築物が7億11百万円、機械装置及び運搬具が3億83百万円増加したこと等によるものです。

#### [負債]

流動負債は、前期末と比較して15億33百万円増加し、固定負債は8億78百万円増加となりました。流動負債の増加は、短期借入金が8億96百万円、1年内返済予定の長期借入金が8億92百万円増加したこと等によるものです。固定負債の増加は、長期借入金が6億15百万円増加したこと等によるものです。

#### [純資産]

純資産は、前期末と比較して7億79百万円増加となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定が6億58百万円減少したものの、利益剰余金が14億7百万円増加したことによるものです。

## POINT-2 連結財務諸表のポイント

### ■連結損益計算書

#### 〔連結売上高〕

育児事業においては、国内における既存事業の強化、新規事業の育成、ダイレクト・コミュニケーションの継続・徹底によるブランドロイヤリティの向上を図りました。また、海外においても、ブランドロイヤリティの強化、浸透を図ることによる既存市場の拡大、新規市場への展開を積極的に推進した結果、前期比8.9%増となりました。ヘルスケア事業は、グループでの事業運営体制による販売力、マーケティング力の強化を行い、特に、アクティブエイジの方を応援するリクープブランドのブランディングの推進および新規販売チャネルの獲得等に注力しましたが前期比0.3%減となりました。その他事業については、前期比4.1%減となったことにより、売上高は570億61百万円となり、前期比6.8%増となりました。

#### 〔連結経常利益〕

国内および海外育児用品事業の売上高増加と売上原価率の低減により、売上総利益が前期実績に対し増益となったものの、海外事業における新規市場開拓、国内事業における新規事業開始に関わる販売、マーケティング費用等、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前期比1.2%減となりました。さらに、経常利益は円高、米ドル安による為替差損の増加により、前期比3.8%減と前年実績をやや下回る水準に止まりました。

#### 〔連結純利益〕

中国において、商品の製造、販売に特化した活動に専念するため、業績不振が続いておりました保育サービスを提供しております連結子会社PIGEON LAND (SHANGHAI) CO.,LTD.およびSHANGHAI CHANGNING PIGEONLAND EDUCATION TRAINING CENTER.の解散を、さらに、原材料調達体制見直しの結果、ウエットティッシュ用不織布の製造を行っておりました持分法適用会社クラフレックス茨城株式会社の解散を、それぞれ決定したことによる関係会社清算損等、特別損失86百万円を計上しましたが、当期純利益は、前期比3.1%増となりました。

### ■連結キャッシュ・フロー計算書

#### 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果獲得した現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、32億6百万円となりました。これは主に売上債権の増加額14億70百万円、法人税等の支払額14億44百万円等の減少要因に対し、税金等調整前当期純利益43億69百万円、減価償却費16億24百万円等の増加要因によるものです。

#### 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果支出した資金は、39億49百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出27億10百万円、事業譲受による支出8億18百万円等によるものです。

#### 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果獲得した資金は、8億86百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出76億27百万円、配当金の支払額15億18百万円等の減少要因に対し、短期借入れによる収入85億48百万円、長期借入れによる収入16億48百万円等の増加要因によるものです。

## 新商品紹介

### ●ピジョン「ママのお口のタブレット」・「デンタルリンス」(薬用)

妊娠期特有のお口のストレスを和らげるタブレット「ママのお口のタブレット」および歯周病、虫歯そして口臭予防のための液体ハミガキ「デンタルリンス」(薬用)を平成22年8月より新発売いたしました。「ママのお口のタブレット」は、うるおい成分により、唾液の分泌を促し、妊娠期特有の口の中のストレス(乾きや粘つき)を和らげるとともに、口内環境を整えます。「デンタルリンス」(薬用)は、歯周病・虫歯・口臭予防が出来る液体ハミガキです。うるおい成分がお口に適度なうるおいを与え、妊娠期特有のお口の粘つきを和らげます。ナチュラルレモンの香味を配合しているため、味やにおいに敏感な時にもすっきり、さっぱりした使用感が得られ、また間食の回数が増えた時や歯磨きが十分に出来ない時などにも、液剤がお口に広がるため手軽にケアできます。



### ●リクープ「じ〜んわり ぽかぽかジェル」

手足に冷えを感じる女性の皆様のお悩みを緩和する温感ジェル、リクープ「じ〜んわり ぽかぽかジェル」を平成22年8月より新発売いたしました。

本商品は、手足にぬるだけで水と反応することで熱を発生し、手足が、じ〜んわりぽかぽかしてきます。また、高い保湿力を持つ保湿成分ヒアルロン酸配合潤いベールが乾燥から肌をやさしく守ります。ほのかなゆずの香りの、す〜とのびるしっとり温感ジェルなので、手軽に利用でき、やさしく手足を包み込みます。



## トピックス

### ●「mOmma」ブランドに関わる事業の譲受け

当社は、平成16年にLANSINOH LABORATORIES, INC.を連結子会社とし、本格的に米国の母乳関連商品市場へと参入しました。同社は乳首ケアクリーム・母乳パッド・さく乳器を主力商品とし、米国、欧州において展開しております。

このたび、LANSINOH LABORATORIES, INC.における商品カテゴリの拡大を目的として、Baby Solutions SA 社、およびBaby Solutions Italia Srl.社より、欧州を中心に育児用品を展開する「mOmma」ブランドに関わる事業を譲り受けました。これにより、LANSINOH LABORATORIES, INC.のさらなる事業拡大を図ってまいります。



### ●マレーシアにおける販売会社の株式取得(子会社化)

マレーシア市場への展開は、当社連結子会社のPIGEON SINGAPORE PTE.LTD.を営業拠点として、すでに約30年にわたる活動をおこなっており、マレーシアにおける売上高は近年、年率10%前後の伸びとなっております。

シンガポールでは、育児用品市場にて約40%の市場シェアを有しており、同国にて培った高いブランド力やマーケティング等のノウハウを生かした活動を、マレーシアにおいても水平展開することにより、さらなる売上高の拡大を図れると考えております。そのため、中長期的なマレーシアにおける事業拡大を目的とし、現地販売代理店の全株式を取得し、販売子会社化(孫会社)いたしました。



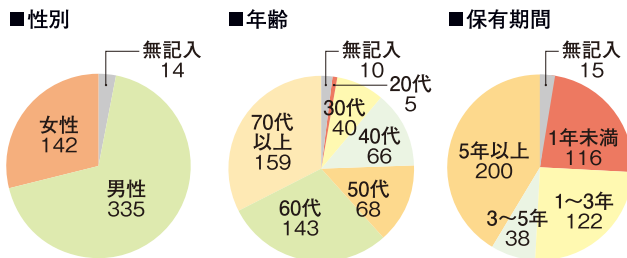


## <株主アンケート>結果のご報告

昨年10月に第54期中間報告書のご送付とともに依頼いたしました<株主アンケート>につきましては、491名の株主様からご回答ならびに貴重なご意見をお寄せいただき、まことにありがとうございました。

皆様からいただきました数々のご意見は、これまで同様、今後の当社グループの経営方針やIR活動の参考にさせていただきたいと考えております。アンケート結果の概要は下記のとおりでございます。

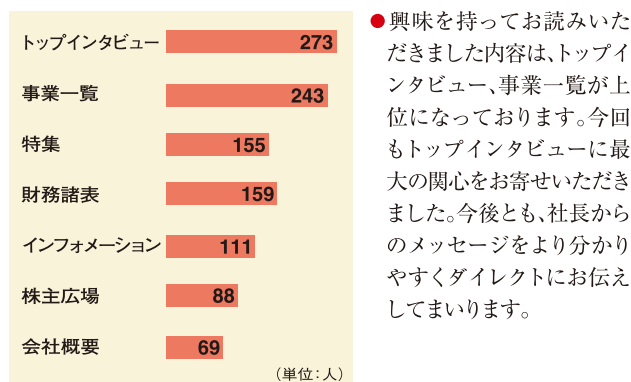
### ① ご回答いただいた株主様の属性 (単位:人)



### ② 報告書についてのご感想

- 今回も「分かりやすい」とのご感想を回答者の80%強の方からいただきました。引き続き内容の充実を図り、より「分かりやすい」報告書の制作に取り組んでいきたいと考えております。
- 約4%の方ではございますが、「分かりにくい」とのご感想もいただきました。今後とも分かりやすい報告書を目指して、なお一層の工夫をしてまいります。

### ③ 興味を持ってお読みいただいたもの(掲載ページ順)



### ④ 今後、報告書に期待する点、あるいは要望したい事項

- 今回の特集とてもわかりやすく良かったです。今後も各地域や、各事業の切り口で詳しく説明していただきたい。
- 報告書として他社より充実していて楽しく読めました。
- とても読みやすいです。新製品の内容や苦勞した点など御社社員に関して、記事にしてもいいかと思います。
- すべてに充実されていると思いますが、介護関係に一層の充実をお願いします。
- 商品開発や研究開発の進捗状況の報告を充実して欲しい。海外事業の情報も同様をお願いします。
- 事業内容や商品の特徴の解説は、期待しています。インフォメーションは増ページを。

### ⑤ 当社(グループ)に対する主なご意見、ご要望

- 経営理念は素晴らしいと思います。暖かみのある会社という感じがする。中国での学校寄贈は将来性につながると思う。
- 御社のベビー用品は性能が良く、いつも使わせてもらっています。今後も赤ちゃんの事を考えた製品を作ってください。
- これからも社会に貢献できる会社であって欲しいと思っています。
- 経営理念に基づき、成長市場である海外に重点投資を行い、成長路線を貫いて頂きたい。
- 発展途上国でも買いやすい、使いやすい育児用品。日本のきめ細やかさは海外でも認められると思う。

### ⑥ いただきました皆様のご意見に対する当社(グループ)の施策対応および今後の対応予定について

- 海外事業につきましては、トップインタビュー等で今後の展開や進捗状況をも含め掲載していきたいと考えております。
- 事業一覧やインフォメーションを通して、事業展開や新製品の紹介をきめ細やかに掲載していきます。

## <株主アンケート実施についてのお願い>

左記にてご報告のとおり、前回のアンケートでも株主様より大変有意義なご意見を多数お寄せいただきました。そこで、今号におきましても引き続きアンケートを実施させていただくことといたしました。

つきましては、大変お手数ではございますが、同封いたしました「株主アンケートはがき」にご記入の上、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です)

なお、アンケートの結果につきましては、平成23年10月にお届けいたします次号(第55期 中間報告書)においてご報告させていただきます予定です。

### アンケート内容

#### Q1 今回の報告書をご覧になってのご感想をお聞かせください。

1. 内容が分かりやすかった
2. 内容が分かりにくかった
3. どちらとも言えない

#### Q2 今回の報告書の記載内容のうち、特に興味を持ってお読みいただけたものを3つお選びください。

1. トップインタビュー
2. 事業一覧
3. 特集企画
4. 財務諸表
5. インフォメーション
6. 株主広場
7. 会社概要

#### Q3 ビジョングループのどの事業に関心を持っておられますか？(複数回答可)

1. 国内育児用品事業
2. 海外育児用品事業
3. 子育て支援サービス事業
4. ヘルスケア事業
5. その他事業(女性ケア用品等)

#### Q4 当社株式を購入された理由は何でしょうか？(複数回答可)

1. 経営理念
2. 事業内容
3. 商品開発力・技術の高さ
4. 将来性・成長性
5. 収益性
6. 財務内容
7. 配当金・配当性向
8. 証券会社や知人の紹介
9. 株価
10. 社会貢献活動
11. その他( )

#### Q5 今後、報告書に期待したい点、あるいは、より内容の充実を望まれることをお書きください。

#### Q6 当社(グループ)に対するご意見、ご要望をお聞かせください。

# 会社概要

- 設立年月日 昭和32年8月15日
- 事業内容 育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
- 資本金 5,199,597千円
- 従業員数 882名（※正社員および契約社員の人数です）
- 本社 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号  
TEL 03-3661-4200（代表）
- 役員（平成23年4月27日現在）
- 取締役最高顧問 仲田 洋一
- 代表取締役会長 松村 誠一
- 代表取締役社長 大越 昭夫
- 専務取締役 佐久間 隆
- 常務取締役 太田 和比古
- 常務取締役 山下 茂
- 取締役 甘利 和久
- 取締役 湯田 博毅
- 取締役 赤松 栄治
- 常勤監査役 大藪 克実
- 常勤監査役 田中 公義
- 監査役 西山 茂
- 監査役 出澤 秀二
- 常務執行役員 北澤 憲政（中国事業本部長）
- 執行役員 松永 勉（経営企画本部長）
- 執行役員 高島 康（経理財務本部長）
- 執行役員 板倉 正（人事総務本部長）
- 執行役員 仲田 祐介（開発本部長）
- 執行役員 倉知 康典（国内ベビー・ママ事業本部長）
- 執行役員 石上 光志（ヘルスケア・介護事業本部長）
- 執行役員 高坂 功（海外事業本部長）
- 執行役員 岩本 忍（ロジスティクス本部長）

（注）監査役 西山 茂および出澤 秀二の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■株式の状況（平成23年1月31日現在）

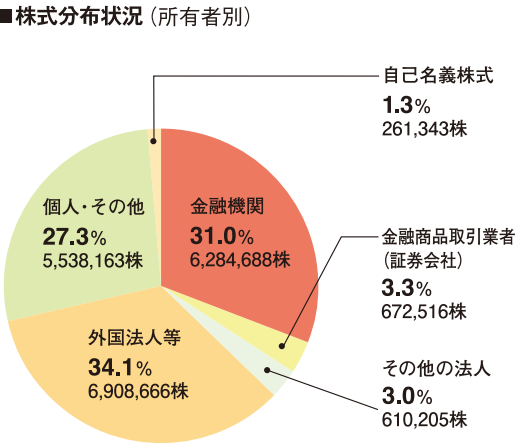
●発行可能株式総数 …………… 60,000,000株

●発行済株式の総数 …………… 20,275,581株

●株主数 …………… 8,869名

●自己株式 …………… 261,343株

| 大株主（上位10名）                                       | 持株数（千株） | 持株比率（%） |
|--------------------------------------------------|---------|---------|
| 仲田洋一                                             | 2,036   | 10.04   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）                        | 1,758   | 8.67    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）                          | 1,583   | 7.81    |
| ビービーエイチ マシユーズ アジア デイビデンド ファンド                    | 1,208   | 5.96    |
| ザ チェース マンハツタン バンク エヌエイ ロンドン<br>エス エル オムニバス アカウント | 517     | 2.55    |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー                    | 509     | 2.51    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）                       | 429     | 2.12    |
| 野村信託銀行株式会社（投信口）                                  | 332     | 1.64    |
| ビジョン社員持株会                                        | 328     | 1.62    |
| ノーザントラスト カンパニー エイブイエフシー リフィデリティ ファンズ             | 322     | 1.59    |



## ■主要事業所

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 事業所    | 茨城県稲敷郡阿見町<br>東京都中野区                |
| 物流センター | 茨城県稲敷郡阿見町<br>茨城県常陸太田市<br>兵庫県神崎郡神河町 |
| 研究所    | 茨城県つくばみらい市                         |
| 営業拠点   | 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・<br>広島・福岡       |

## ■次の16社を連結の対象にしています。

- ピジョンホームプロダクツ(株) ●ピジョンウィル(株)
- ピジョンハーツ(株) ●PHP兵庫(株) ●PHP茨城(株)
- ピジョンタヒラ(株) ●ピジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.
- PIGEON INDIA PVT.LTD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO.,LTD.
- PIGEON INDUSTRIES(CHANGZHOU)CO.,LTD.
- LANSINOH LABORATORIES,INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN  
INDUSTRY AND COMMERCE LTD.CO.
- PIGEON INDUSTRIES(THAILAND)CO.,LTD.
- THAI PIGEON CO.,LTD.

## ■次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

## 株主メモ

|                               |                                                                                                                                       |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 証券コード                         | 7956                                                                                                                                  |
| 事業年度                          | 2月1日から翌年1月31日まで                                                                                                                       |
| 定時株主総会                        | 毎年4月                                                                                                                                  |
| 期末配当金受領<br>株主確定日              | 1月31日                                                                                                                                 |
| 中間配当金受領<br>株主確定日              | 7月31日                                                                                                                                 |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関     | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                    |
| 株主名簿管理人<br>事務取扱場所             | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                                                                              |
| 同事務連絡先<br>(お問合せ先)<br>(郵便物送付先) | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL 0120-232-711<br>(通話料無料 平日9:00～17:00)                                        |
| (ホームページ)                      | <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>                                                             |
| 単元株式数                         | 100株                                                                                                                                  |
| 公告の方法                         | 電子公告<br><a href="http://www.pigeon.co.jp/">http://www.pigeon.co.jp/</a><br>ただし、やむを得ない事由により、電子<br>公告によることができない場合は、日<br>本経済新聞に掲載して行います。 |

### 〈ご案内〉

#### ● 株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について

株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。

口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

#### ● 特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。

#### ● 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



### 表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

### ● インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。



ビジョン トップページ



IR情報トップページ

ビジョン トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ

<http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

#### 将来予測に関する記述についての注意事項

本報告書の将来予測に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レートなどにかかわる様々な要因により、記述されている事業予測とは異なる可能性があることをご承知おきください。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。